

## 1. 単元名

「より少ないプラスチックで生活するために自分たちにできることを考えよう」

## 2. 単元の目標

- ・プラスチックの利便性と悪い点の両方について理解できる。(知識・技能)
- ・プラスチックが引き起こす問題について理解できる。(知識・技能)
- ・プラスチックごみの問題を自分事として捉えられることができる。(思考・判断・表現)
- ・自分で考えを選択し、より少ないプラスチックで生活するために自分ならどう行動していくのか考えることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

## 3. 単元について

### (1) 教材観

2020年7月1日からコンビニやスーパーなどで無料配布されていたレジ袋が全国で有料化された。レジ袋の有料化が定められた背景には環境問題がある。レジ袋の材料であるプラスチックが環境汚染の原因の一つになっているのだ。特に問題視されている海洋プラスチックは、海の生態系だけでなく、人体にも悪影響をおよぼすといわれており、脱プラスチックへの姿勢が世界中で求められている。しかしながら、2022年現在でも海に流れるプラスチックゴミの量は年間で800万トンとプラスチックゴミが大量に排出されているのが現状である。

本学習では、レジ袋の有料化を単元の軸として授業を展開する。身の回りにあるプラスチックを意識することから始まり、世界中に存在するプラスチックごみが原因で海・陸の生き物が死んでいるという動画教材等を通して、人間の起こす行動が環境や生態系に悪影響を及ぼすと気づき、このまま莫大な量のプラスチックを使い続けてはいけないということを実感させる。プラスチック製品の使い方・捨て方を見直し、プラスチックごみを減らすために自分たちにできることを考えて行動を促す。

### (2) 指導観

はじめに、普段どんなプラスチックを使っているのかを生徒に聞く。ストロー・ボールペン・ビニール袋・下敷き・ペットボトルなど身の周りにあるプラスチックを認識させ、日常生活においてプラスチックをたくさん使っているということを実感させる。次に、プラスチックの良さを調べさせ、他の素材に比べて安価で軽くて丈夫などプラスチックの利便性に気づかせる。利便性に長けており、身の周りにたくさんあるプラスチック製品は、生徒たちにとって「なくては困るもの」として位置づけられていることを実感させる。しかし、レジ袋が全国で有料化されたことを取り上げ、私たちの生活に欠かせない便利なプラスチックが環境や生態系に悪影

響を及ぼしているということにも気づかせる。プラスチックの長所と短所を理解し、プラスチックの中でも必要なものと不必要なものを考えさせる。また、日本以外の国のプラスチック削減対策にも目を向けさせ、海外のように人々の行動を制限する強制力の効いた政策を実施しにくい日本では、どうすればプラスチックの使用量を減らせるのかについても考えさせる。そして、最終的には、自分で考えを選択し、より少ないプラスチックで生活するために自分ならどう行動していくべきなのかを考えるように促す。

### (3) ESD との関連

#### ①本学習で働かせる ESD の視点(見方・考え方)

- ・ **相互性**…人間の起こす行動が環境に影響を及ぼすということを理解する。
- ・ **公平性**…世代間の公正を考えることができる。(後述)
- ・ **責任性**…プラスチックごみ問題を自分事として捉え、日頃から自身の行動に責任を持つことができる。

#### ②本学習で育てたい ESD の資質・能力

##### ・クリティカル・シンキング

…利便性に長けているレジ袋が有料化になったことを批判的に見つめ、有料化になった背景を考えることができる。また、プラスチックの長所と短所を理解し、プラスチックの中でも必要なものと不必要なものを考えることができる。

##### ・システムズ・シンキング

…世界で実施されているプラスチック削減政策を知り、プラスチック問題を多面的・多角的に考えることができる。

##### ・長期的思考力

…使い捨てプラスチックの代わりになるもの(水筒やエコバッグなど)を考え、1つのモノを長기에わたって使い続けようとすることができる。

##### ・コミュニケーション力

…他の生徒の考えも受け入れ、お互いに意見を交換できる。

#### ③本学習で育てたい ESD の価値観

##### ・世代間の公正を認識できる

…プラスチック問題を解決しようと努力することで、自分たちだけでなく、未来の人々も豊かな地球環境で生活できる社会に繋がるということも考えられる。

##### ・自然環境・生態系の保全を重視する

…多量のプラスチックが地球温暖化につながることや、海・陸の生態系への変化を及ぼすことを理解できる。

④達成が期待される SDGs

【目標 12】 つくる責任つかう責任

【目標 13】 気候変動に具体的な対策を

【目標 14】 海の豊かさを守ろう

【目標 15】 陸の豊かさも守ろう

4. 評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>・プラスチックの利便性と悪い点の両方について理解している。</p> <p>・プラスチックが引き起こす問題について理解している。</p>	<p>プラスチックごみの問題を自分事として捉え、プラスチックを減らすために実践しようと思う自分の考えを工夫して分かりやすく説明している。</p>	<p>自分で考えや行動を選択し、より少ないプラスチックで生活するために自分にできることを主体的に考え、取り組もうとしている。</p>

5. 単元計画 (全9時間)

次	学習活動・生徒の発言	教師の動き・学習への支援	ESD との関連
<p>第一次</p> <p>①</p>	<p>○身の周りにたくさんあるプラスチックを認識する。</p> <p>・ストロー・ボールペン・ビニール袋・下敷き・ペットボトルなど</p> <p>○インターネットや図書館を利用して、プラスチックの良さを調べる。</p> <p>・安価で大量生産できる。</p> <p>・軽くて丈夫</p> <p>・持ち運びやすいなど</p> <p>⇒利便性に長けている。</p>	<p>・普段どんなプラスチックを使っているのかを問い、考えさせる。</p> <p>・利便性に長けており、身の周りに多く存在するプラスチック製品は、生活に欠かせないものということを実感させる。</p>	
<p>第二次</p> <p>②</p>	<p>○ビニール袋有料化の背景について考える。</p> <p>・ビニール袋を人々の手に渡りにくくするようにしている。</p>	<p>(発問) なぜ、非常に便利なビニール袋が有料になったのだろうか？</p> <p>・レジ袋が有料になったから使</p>	<p>・クリティカル・シンキング</p>

<p>第三次</p>	<p>・私たちがプラスチックを使いすぎている。</p> <p>・プラスチックをたくさん使うことによって引き起こされる問題がある。など</p> <p>○プラスチックの問題を知る。</p> <p>・年間約 800 万トンのプラスチックごみが海に流れている。</p> <p>⇒海の生物の死</p> <p>・ポイ捨てされたプラスチックを食べ物と間違えて陸の動物が食べてしまう。⇒陸の生物の死</p> <p>・多量のプラスチックごみを燃やす。⇒二酸化炭素の排出量が増加など</p> <p>③ ○インターネットや図書館を利用して、プラスチックが引き起こす問題を自分で調べてまとめる。</p> <p>④ ○プラスチックの中でも必要なものと不必要なものを考える。</p> <p>・第一次の導入部分で出た、身の周りにあるプラスチックの中から【長期にわたって使えるプラスチック】と【使い捨てのプラスチック】に分ける。</p> <p>○使い捨てプラスチック(ワンウェイプラスチック)を削減させる行動や代わりになるものを考える。</p> <p>・レジ袋⇒マイバッグ</p>	<p>わないではなく、レジ袋が有料になった意図に目を向けさせる。</p> <p>・動画教材や画像を使用して、世界中にプラスチックごみが大量に存在しているという事実を伝える。</p> <p>・莫大な量のプラスチックをこのままの使用方法と捨て方で使い続けるのは良くないということに気づかせる。</p> <p>(発問) みんなの身の周りにあるプラスチックを、繰り返して使用できるプラスチックとワンウェイプラスチックに分けてみよう。</p> <p>・プラスチック製品の使い方・捨て方を見直させる。</p> <p>・生徒から新しいアイデアを引き出す。</p>	<p>・自然環境・生態系の保全を重視する</p> <p>・世代間の公正を認識できる</p> <p>・相互性</p> <p>・責任性</p> <p>・公平性</p> <p>・クリティカル・シンキング</p> <p>・長期的思考力</p>
------------	--	--	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトル⇒水筒</li> <li>・詰め替えできる商品の使用</li> <li>・宅配やテイクアウトをなるべくしないようにする。など</li> </ul> <p>⑤ ○海外で取り組まれているプラスチックを減らすための政策を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べられるスプーン(韓国・インド)</li> <li>・配布するスプーンやフォークを原則禁止(フィリピン)</li> <li>・使い捨てプラスチック容器を原則使用禁止(フランス)など</li> </ul> <p>⇒「原則禁止」など強制力のある政策が特徴的</p> <p>⑥ ○インターネットや図書館を利用して、海外のプラスチック削減政策を自分で調べてまとめる。</p> <p>⑦ ○プラスチック削減への日本の企業努力について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙ストロー・紙カップ・紙袋の導入</li> <li>・ストローレスリッド(ストローを使わずに飲み口から直接飲用できる蓋)の導入</li> </ul> <p>○日本国内で取り組まれているプラスチックごみ問題の解決策を調べ、整理する。(インターネットや図書館を利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジ袋有料化</li> <li>・プラスチック製⇒紙製に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画や画像を使用して、プラスチック削減政策について世界に目を向けさせる。</li> <li>・日本では行われていない外国特有の政策を紹介する。</li> <li>・プラスチック問題を多面的・多角的に捉えさせる。</li> </ul> <p>・動画や画像を使用して、日本企業による政策を紹介する。</p> <p>・海外のように、強制力の効いた政策を実施していない(しにくい)という日本の状況に気づかせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムズ・シンキング</li> </ul>
--	--	---	--

<p>第四次</p> <p>⑧</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リデュース、リユース、リサイクルの3Rを押し進める。</li> <li>・ボランティアによるごみの回収活動など</li> </ul> <p>○レジ袋有料化の実態について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイバッグを持参する人が増えた。</li> <li>・しかし、レジ袋以外のプラスチック製品は以前と同じように使用されている。</li> <li>・お金を払えば簡単に手に入る。⇒強制力は他国に比べて少ない。⇒レジ袋をまだ使用している人も多い。</li> </ul> <p>○プラスチックごみを減らすためにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水筒を使う。</li> <li>・エコバッグを使う・ごみ拾いをする・きれいに洗って繰り返し使う・紙製などプラスチック以外でできているモノを購入する・「みんな」で協力して取り組む。など</li> </ul> <p>⑨</p> <p>○自分で考えたプラスチックごみ削減のために実践しようと思う行動を宣言する。他の生徒たちと意見を交換し合う。</p>	<p>(発問)レジ袋を有料にして本当に地球の環境は良くなったのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジ袋だけでなく、プラスチック製品をはじめ自分の意識や行動が重要と実感させる。</li> </ul> <p>(発問)プラスチックごみを減らすために、自分たちにできることを考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外のように、強制力の効いた政策を実施しにくい日本では、どうすればプラスチックごみの量を減らせるのかについても考えさせる。</li> </ul> <p>・宣言を通して行動化を促す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムズ・シンキング</li> <li>・責任性</li> <li>・コミュニケーション力</li> </ul>
---------------------	---	--	---